

指定研修機関の立場から

第2回指定研修機関意見交換会

資料2-3



社会医療法人社団さつき会
袖ヶ浦さつき台病院（千葉県）
看護師特定行為研修センター

研修実施責任者 栗原サキ子

指定研修機関の研修ビジョン

組織ビジョン：社会的自立のもと、人材の育成に努め、時代の変化に対応し、開かれた組織としての発展を期する。

- 精神科病床が半数をしめる自施設である。精神科に就業する看護師が、新たな教育システムで学ぶことで、アセスメント能力を強化し患者ケアについて医師との役割分担を明確にした協働ができる。
- 医師不在の施設や在宅で患者ケアを実践できる。（老健施設・在宅）
- 精神科患者が持つ身体疾患に対応できる。（糖尿病・脱水症・栄養障害）

対象としたい受講者の就業施設

精神科の施設・老健施設・訪問看護

研修の状況

平成28年4月開講 1 区分

・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

定員3名

平成28年度受講者

・自院精神科(日本精神科看護協会認定看護師 2+1)

3名

平成29年度受講者

・自院精神科 ・東京都国立病院精神科
・千葉県の老健施設 ・埼玉県訪問看護ステーション

4名

平成29年4月開講追加 2 区分

・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
・血糖コントロールに係る薬剤投与関連

定員
各3名

研修の方法

- 研修期間 1年間
- 研修時間数 共通科目時間数：320.5時間 区分科目：70時間
- 研修場所 講義・演習・実習すべて研修センター及び院内で実施

研修の進め方 共通科目1科目を1ヶ月で修了

授業の形態 通信教育→1か月分の指定のテキストや印刷教材を配布、課題レポートは3回に分けてメールで提出。
演習・科目修了試験、情報交換を毎月1回研修センターで実施（土曜日）
（指導医、事務も一緒にランチ）

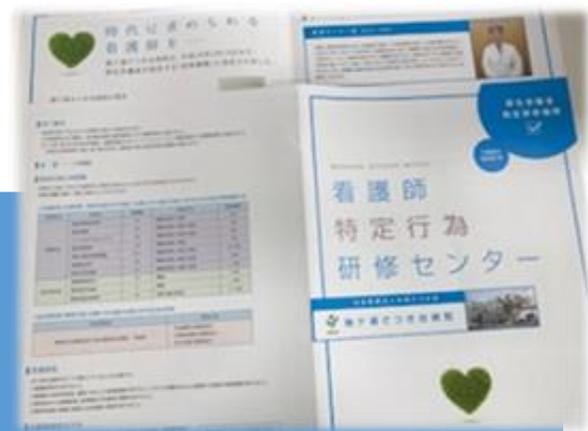
指導者 医師・薬剤師・臨床心理士

受講者の対応 実施責任者

実施責任者の役割 課題レポートの準備と配布
受講者からの提出物の窓口→担当指導者へ分担
担当指導者からの評価・添削指導→受講者へ送信
目標を達成していない場合、再度課題提出のアドバイス ※研修センターの運営

募集方法

働きながら学べる研修計画



平成28年度開講

- ・ 自院の受講生を予定した
- ・ 開講について千葉県看護協会に募集要項とHP掲載を報告
千葉県看護協会のホームページに連動掲載
- ・ 近隣の施設に募集要項を送付
- ・ 日本精神科看護協会に開講の報告、会員施設に募集要項の配布

平成29年度開講

- ・ 自院の受講希望者を予定した
- ・ HPを見て、複数の施設や個人から問い合わせがあった
研修概要を説明し受講動機の確認をした

平成30年度開講

- ・ 精神科区分
 - ・ 栄養及び水分管理
 - ・ 血糖コントロール
 - ・ 院内看護師の受講希望者
- 自院一般科看護師や28・29年度研修修了者が受講希望

院外受講者の募集対策

- ・ HPで研修状況を随時掲載する。
- ・ 医師・看護も含め院外でのイベントで広報。

院内受講者の推進

- ・ 研修修了者の活動の周知
- ・ 研修センターの演習日に参加の機会を計画

共通科目演習 月1回（土曜日）



研修修了者

受講者

受講者

研修受講予備群

指導医
1名～2名

受講者の支援

実施責任者

働きながら研修を継続し修了できる事

受講者

1科目を3回に分け課題レポートの提出。送信、着信のメールは必須

共通科目実習・区分科目実習の5日だけ平日に研修センターで実施

受講者同士の情報交換を促す

不明な点へのタイムリーなメール対応(夜間以外)

昨年度の研修修了者が、演習・実習の支援

今、優先すべき事は何か・体調→業務→研修受講

共通科目5科目となり、顔が見えない情報交換であるが、メールの文字から受講者の状況や思いが感じ取れるようになり、どう伝えたら少ない言葉でよい「励まし」になるか、毎回、考え送信の日々。

現在の課題

1. 研修機関の課題	研修修了者の周知・院外受講者の募集対策・受講しやすい研修計画
2. 施設の課題	研修受講の推進・中堅看護師が不在となる現場の人員調整 研修修了者の活動の周知
3. 受講者の課題	業務と両立できる研修機関の選択・目的意識の明確化・職場の支援

今後の課題

上記 1. 2. 3. は継続課題

研修機関の役割について

- ・ 研修機関は、研修を実施するだけでよいのか
- ・ 修了者の活動支援をどのように出来るか
- ・ 研修中に活動の検討、方法の支援が可能か（年間活動計画）
- ・ 研修修了後の研修期間をどのように支援できるか
- ・ 研修修了者の育成は誰がどのようにするか施設の方針を把握可能か
- ・ 研修修了後の定期的なフォローアップの必要

28年度 共通科目演習



病棟・外来に特定行為研修指定機関であり、実習をしていること、研修修了者の活動施設であることを掲示している



29年度 共通科目演習



ご清聴ありがとうございました